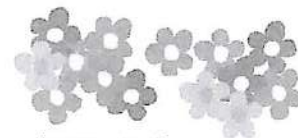




国語科(1年)



☆国語科で学習すること

小学校の国語の学習では、日常生活に必要な話す・聞く・書く・読むなどの基礎的な内容を繰り返し学習し確実に言語能力を育成することを重視しています。

1年生の国語では、年間306時間の授業を実施することになっています。本校では、その内の30時間を書写に当てています。

特に、入門期にあたる1年生では、話したり聞いたりすることに興味関心を持ち、意欲的に言語活動に取り組ませます。五十音をはじめとする平仮名、片仮名、漢字などを書く力が確実に身に付くように、学習を進めていきます。

☆学習の仕方について

国語で学習することは、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「情報の扱い方に関する事項」、「我が国の言語文化に関する事項」です。

そこで、まず大切なことは、先生の話や友達の発表を「聞くこと」です。聞くことは、全ての学習の基礎になります。話す人の顔を見て、大事なことを落とさないで聞くことができるようになります。

「話すこと」では、自分のしたことや思ったことを人前で、はずかしがらずに、大きな声ではっきり話すことです。その時、口の形や姿勢などにも気をつけるようにしましょう。

「書くこと」では、鉛筆の持ち方や姿勢に気をつけ、文字をできるだけいいねに書くようにしましょう。とめ、はね、はらいなど細かいところに気をつけてノートを使う習慣をつけることが大切です。

「読むこと」では、教科書を繰り返して声に出して読むことが大切です。学級文庫などを利用して、できるだけたくさん本を毎日習慣づけて読むように心がけましょう。

☆評価の観点について

国語科では、次の3つの観点で評価します。

①「主体的に学習に取り組む態度」

- 「国語に対する関心を持ち、話し合ったり、楽しく表現したり、様子などを想像したりしながら楽しんで読書しようとする。」
- 授業への参加態度、提出物、発表、ワークシート、読書カード等

②「思考・判断・表現」

- 「事柄の順序がわかるように話したり、大事なことを落とさずに聞いたりする。」
- スピーチ、発表、聞き取りメモ等
- 「経験したことや想像したことを、順序がわかるように、語や文の続き方に注意して文や文章を書く。」
- 作文、作文メモ、単元テスト(表現)等
- 「書かれている事柄の順序を考え、場面の様子など想像を広げながら読む。」
- 音読テスト、ワークシート、単元テスト(理解)等

③「知識・理解」

- 「国語についての基礎的事項について理解し、文字の形、筆順等を理解して文字を正しく書く。」
- 漢字・言葉の小テスト、単元テスト(言語)、硬筆ノート、硬筆作品

☆児童の学習意欲や思考力・判断力・表現力を重視し、ノート、自己評価や相互評価、毎時間の伸び、疑問、願いなどの様々な面から多面的に評価します。

学習予定

月	学習すること
4	○はるがきた ○おはなしききたいな ○なんていうかな ○かくことたのしいな ○どうぞよろしく ○こんなものみつけたよ ○うたにあわせてあいいうえお
5	○こえにだしてよう ○よくきいて、はなそう ○ことばをさがそう ○はなのみち ○としょかんへいこう ○かきとかぎ ○ぶんをつくろう ○ねことねっこ
6	○わけをはなそう ○おばさんとおばあさん ○あいうえおであそぼう○つぼみ ○おもちゃとおもちや ○おおきくなった ○おおきなかぶ
7	○はをへをつかおう ○すきなこと、なあに ○おむすびころりん ○こんなことがあったよ ○としょかんとなかよし
夏休み	夏休み読書チャレンジ
9	○こえをあわせてよう ○みんなにしらせよう ○ことばをみつけよう ○やくそく ○かたかなをみつけよう ○うみのかくれんぼ ○かずとかんじ
10	○くじらぐも ○まちがいをなおそう ○しらせたいな、見せたいな ○かん字のはなし ○ことばをたのしもう
11	○じどう車くらべ ○じどう車ずかんをつくろう ○かたかなをかこう ○どんなおはなしができるかな ○たぬきの糸車
12	○目づけとよう日 ○てがみでしらせよう ○むかしばなしをよう おかゆのおなべ
冬休み	冬休み読書チャレンジ
1	○なりきってよう ○くわしくきこう ○ことばであそぼう ○どうぶつの赤ちゃん ○ものの名まえ
2	○わらしべちょうじゃ ○かたかなのかたち ○ことばあそびをつくろう ○これは、なんでしょう
3	○ずうっとずっと大すきだよ ○にているかん字 ○いいこといっぱい、一年生

算数科 1年

☆学習すること

1年生は年間136時間の授業を通して、次の内容を学習します。

- ・2桁の数までの数の意味や表し方(120程度までの数)
- ・1桁の数どうしのたし算とひき算
- ・簡単な場合についての2桁の数のたし算とひき算
- ・長さ、面積、体積を直接比べること
- ・時刻の読み方(何時何分)
- ・身の回りにあるものの形(平面図形と立体図形)
- ・たし算やひき算の場面を式に表すこと
- ・ものの個数を絵や図で表すこと

☆評価の観点

算数科では、次の3つの観点で評価します。

- ① 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解しているとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けている。(知識・技能)
- ② 「日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考察する力」「基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力」「数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力」を身に付けている。(思考・判断・表現)
- ③ 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付く粘り強く考えたり、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとしたり、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとしたりしている。(主体的に学習に取り組む態度)

★ 単元テストだけでなく、日常の学習の様子、発言、課題への取り組み状況、ノート整理の仕方、自己評価や相互評価、毎時間の伸びなど様々な面から評価します。

☆保護者の方へ

- ①「東京書籍」の教科書を使用して学習をすすめます。その他に、計算ドリルを購入して使用します。家庭学習でも活用してください。
- ②ノートは、学校で購入したものを使います。その他にワークシートなども使用します。
- ③算数で学習することを、生活に関連づけるようご家庭でも意識していただくと、より効果が上がります。

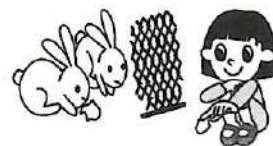


☆学習予定☆

学期	単元名	おもな学習の内容
一学期	*くらべたことがあるかな おおいのはどちらかな	◎直観的に数の多少を判断する。
	1 なかまづくりとかず	◎10までの数(個数の比べ方、書き方、数の構成等)
	2 なんばんめ	◎10までの順序や位置を数で表す。
	*どのようにかわるかな	◎数の構成 数の変わり方
	*しあげよう	◎数の構成や数を数える問題
二学期	3 あわせて いくつ ふえると いくつ	◎加法の意味と和が10以内の加法計算の仕方
	*おぼえているかな?	◎既習内容の理解の確認
	4 のこりは いくつ ちがいは いくつ	◎減法の意味と被減数が10以内の減法計算の仕方
	5 どちらが ながい	◎長さの比較などの活動 ◎長さについての基礎的な意味、比較の方法 任意単位による測定の方法 ◎任意単位により長さを数値で表す
	6 わかりやすく せいりしよう	◎ものの個数を種類ごとに分類整理し、簡単な絵や図を用いて表したり読み取ったりする。
	7 10よりおおきい数	◎40までの数についての個数の数え方や読み方、数の構成などの理解 ◎20までの数の構成を加法や減法の式で表す。
	8 なんじ なんじはん	◎何時、何時半の時刻の読み方 ◎時刻を時計で表す
	*おぼえているかな?	◎既習内容の理解の確認
	9 3つの かずの けいさん	◎3つの数の加法計算の場面を1つの式に表し、その計算をする
	10 どちらが おおい	◎体積についての基礎的な意味、保存性、比較の方法、任意単位による測定の方法
	11 たしざん	◎1位数どうしの繰り上がりのある加法計算の仕方
	*おぼえているかな?	◎既習内容の理解の確認
	12 かたちあそび	◎身の回りにあるものの形についての基本的な立体図形の特徴や機能 ◎構成や分解
三学期	13 ひきざん	◎11~18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方
	* どんなけいさんになるのかな	◎問題文を読み、立式、解決 ◎絵を見て作問し、解決する
	* けいさんびらみっど	◎ピラミッドの計算 ◎既習の加法計算の練習
	14 おおきいかず	◎2位数や簡単な3位数(120程度までの数え方、読み方、構成) ◎2位数の数の構成を加法や減法の式に表す
	15 どちらが ひろい	◎面積の比較などの活動 ◎面積とその測定についての基礎的な意味 ◎直接比較や任意単位での測定
	16 なんじなんぷん	◎何時何分の時刻の読み方と時計での表し方
	* ビルをつくろう	◎数の乗法・除法的構成
	17 たしざんとひきざん	◎順序数や異種の数量を含む加減の場面 求大や求小の場面を式に表し、問題を解く
	18 かたちづくり	◎身の回りにあるものの形についてその概形や特徴を捉える ◎色板や棒を並べていろいろな形を構成したり分解したりする。
	* 1ねんのふくしゅう	◎まとめ 既習内容の理解の確認



生活科(1年)



☆生活科とはこんな教科です。

学習予定

生活科は平成4年度から1、2年生を対象に取り入れられた教科です。生活科では、見る、聞く、ふれる、作る、探す、育てる、遊ぶなどして直接働きかける学習活動を行います。また、そうした活動の楽しさやそこで気付いたことを言葉、絵、動作、劇化などによって表現する学習活動を行います。

生活科は、子供の生活圏である地域を学習の対象や場とするため、学校によって取り上げる教材は異なります。



☆学習の特質

- 児童の身近な生活圏を活動や体験の場や対象にします。
- 人、社会、自然を一体的に扱います。
 - ・人、社会、自然は本来一体的に存在しており、児童はそれらを一体的に感じる傾向が強く、大人のように客観的に区別して理解しているのではないからです。
- 児童が自らの思いや願いを実現していく過程を重視します。
- 身近な人々、社会および自然についての気づきとともにそうした気づきをする自分自身の成長にも気付くことができるようになることを重視します。
- 生活上必要な習慣や技能を身につけることを求めています。



☆評価の観点について

○令和2年度より、生活科も他教科同様、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

① 知識・技能

この観点は、生活科では「気づき」と位置づけています。教えられて受動的にわかるのではなく、自分から主体的に環境とかわり、その中で気づき、分かることを大切にしたいということです。活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けているかを見ます。

② 主体的に学習に取り組む態度

生活科は、あれこれの知識を覚えればよい教科ではありません。生活の中に生きて働く力を育てることを目指しています。子供が身近な環境や自分自身に関心を持ち、自ら進んでそれらとかかわり、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとしているかどうか実践的な態度を見ます。

③ 思考・判断・表現

生活科では、具体的な活動や体験を通して学習しますが、ただいろいろ考えたり、工夫したりして、よりよいものを求めていく姿を大切に評価します。身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、その子なりの素直な表現がなされているかを見ます。

生活科では、長期的な見通しに立ち、継続的に子供の姿を見ます。知識理解中心になりがちなペーパーテストではなく、「行動の観察」「発言や作品の分析」「低学年の子供に可能な自己評価(みつけたよカードなど)」などを手がかりに、子供のよい点や進歩の状況などを評価します。

☆ 保護者の方へ ☆

生活科は、学習の対象や場が子供の生活圏であり、学習によっては直接保護者の皆様がかかわってくる内容や、家庭で実践することが含まれる内容もあります。家庭の協力をいただくことが多い教科です。(「かぞくにくにこ大きくせん」などの学習) 学校から子供たちの活動の様子をお知らせすることはもちろんですが、是非、家庭での生活の様子もお知らせください。

月	学習すること
4	○はじめの いっぽ ・きょうから1ねんせい ・がくしゅうのはじまり ・がっこうのせいかつ ○わくわく どきどき しょうがっこう ・挨拶と返事の仕方を知る。 ・並び方を知る。 ・トイレを探検し、使い方を知る。 ・掃除の仕方を知る。 ・給食の準備・食べ方・片付けの仕方を知る。 ・2年生と遊ぶ。 ・学校探検をする。(校庭、校舎内探検)
5	
6	
7	○きれいに さいてね わたしのはな ・あさがお集会(2年生との交流) ・アサガオのたねまき *継続観○ きせつと なかよし はる なつ ・学校や公園で夏探しをする。 ・夏遊び(水や砂場を使った遊び)をする。 ・楽しかったことを絵や文で表す。
9	○なかよくなろうねちいさなともだち ・小動物とふれあう。 種取り ・夏の生き物を探しに行く。 (生きものを観察し、世話をする。) ○きせつと なかよし あき ・学校や公園で秋探しをする。 ・秋遊び(木の実や落ち葉を使った遊び)をする。 ・木の実や落ち葉などを使っておもちゃを作る。 ・自分が作ったおもちゃを紹介したり友達と一緒に遊んだりする。 ・楽しかったことを絵や文で表す。
10	
11	
12	○かぞくにくにこ 大きくせん 種取り ・自分の1日をふりかえる。 ・家族の1日をふりかえる。 ・家庭で自分のできることを見つけて取り組む。 ・できるようになったことを発表し合う。
1	○きせつと なかよし ふゆ ・学校や公園で冬探しをする。 ・冬の遊び(凧作り、凧揚げ)をする。 ・昔遊び(お手玉、けん玉、こま等を使った遊び)をする。 ・節分 ・楽しかったことを絵や文で表す。
2	○もうすぐ 2ねんせい ・一年を振り返り、できるようになったことを発表し合う。 ・新一年生を迎える準備をする。(教室掲示等)
3	・ひな祭り ・春探しをする。

音楽科 1 年

♪ 音楽で学習すること ♪

1年生の音楽では、楽しい音楽活動を通して、音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能や、音楽を味わって聴く力を身に付け、生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を育てます。

学習の過程で、カスタネットや鍵盤ハーモニカなどの楽器を扱います。歌うことや楽器を演奏することへの興味・関心を大切にしながら学習を進めていきます。

♪ 1年生の内容 ♪

- ・音楽の内容は大きく「表現」と「鑑賞」の二つに分かれています。

表現

- 歌や演奏するときに、どのように表現したいか思いをもったり、音楽づくりの発想を得たりする。
- 曲想、歌詞、音色などと音楽との関わりに気付いたり、身の回りの音が生み出す面白さに気付いたりする。
- 範唱を聴いて歌ったり、リズム譜を見て演奏したり、簡単な音楽をつくったりする。

鑑賞

- 曲や演奏の楽しさを感じて味わって聴いたり、曲想と音楽との関わりについて気付いたりする。

♪ 学習活動を通して ♪

- ・1年生では、年間68時間、音楽の授業があります。
- ・授業以外でも、朝の会で歌ったり、音楽朝会で歌ったりして、音楽に親しみます。
- ・音楽朝会では、学年ごとに進行を担当し、今月の歌を中心に歌唱する曲のめあてを持ちながら全学年で合唱し、音楽の楽しさや美しさを味わいます。
- ・始業式や終業式、運動会などの行事でも校歌などを歌い、音楽の学習を生かして、音楽を愛好する心を養います。

♪ 学習の予定 ♪

月	題 材 名	教材 (◎鑑賞教材 ☆共通教材)
4	うたって おどって なかよくなるう	・国歌 ・校歌 ◎どみそらんど ・うたってなかよくなるう ◎セブンスステップス ◎チェツチェツコリ ☆ひらいたひらいた
5	はくを かんじとろう	・おとでおはあんし ・手拍子でリレー ◎さんぽ
6		・じゃんけんぽん ・みんなであそぼう
7	はくにのってリ ズムをうとう	◎しろくまのジェンカ ☆かたつむり ・ぶんぶんぶん ・ことばでリズム ☆うみ みのまわりのおどにみみをすまそう ・おとをさがしてあそぼう
9	どれみと なかよくなるう	けんばんハーモニカとなかよし ・たのしくふこう ・どんぐりさんのおうち ・けんばんハーモニカでおとあそび ◎みつばちハニーのぼうけん ・なかよし ☆ひのまる
10	せんりつで よびかけあおう	・やまびこごっこ ・まねっこあそび ・せんりつのよびかけっこ ◎こうしんきよく
11	がっきと なかよくなるう	・おとさがし ・さがしてみようならしてみよう ・えからうまれるおんがく ◎シンコペーテッドクロック
12	ようすをおもい うかべよう	・きらきらぼし ◎にんぎょうのゆめとめざめ ・はるなつあきふゆ
	にほんのうたを たのしもう	◎さんちゃんが/おおなみなみ ・おちゃらかはい
1	みんなであ わせて たのしもう	・あいあい ・とんくるりんぱんくるりん ・こいぬのマーチ ◎クシコスポスト
2	うたいつごう にほんのうた	・たなばたさま ・おしょうがつ ・うれしいひなまつり

♪ 評価の観点 ♪

- 知識・技能・・・・・・・・曲想と音楽の構造などとの関わりに気付き、音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能が身に付いている。
- 思考・判断・表現・・・・・・・・音楽表現を考えて、表現する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら、音楽を味わって聴くことができる。
- 主体的に学習に取り組む態度・・・楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとしている。



図画工作科（1年）



【図画工作科で学習すること】

- ◎ 図画工作科は、子どもたちが自分らしさを発揮し、自分の方法でかいたり、つくったり、あそんだりすることの快さや楽しさを味わう教科です。
- ◎ 1年生の図画工作科では、年間68時間の授業を通し、A表現（1）『造形遊び』（2）『絵や立体・工作に表す』 B鑑賞〔共通事項〕の学習をします。
私たちは、2か年を見通し、学年間で関連を図りながら指導します。
- ◎《ねらい》
 - 1 進んで表したり見たりする子を育て、つくりだす喜びを味わえるようにします。
 - 2 豊かな発想をし、体全体の感覚や技能などを働かせて造形活動ができるようにします。
 - 3 身の回りの作品などから、面白さやよさを感じ取れる感性を育てます。

【評価の観点】

- ◎ できあがった作品だけで評価するのではなく、子どもたちの活動の様子をの視点をあて、その過程を大切にします。
- 次の3つの観点で評価します。
 - 1 1 造形活動に必要な道具の使い方を理解し、創造的な技能や造型感覚が生かされているか。
(知識・技能)
 - 2 主題の表し方に自分のイメージをもちながら、感覚や気持ちを生かしながら、活動しているか。
(思考・判断・表現)
 - 3 造形作品にふれ、そのよさや美しさを感じ取り、自分の思いをもって、造形表現活動を進んで楽しんでいるか。
(主体的な学習に取り組む態度)

《学習の予定》

	題 材 名（領 域）
一 学 期	「すきなもの、いっぱい」（絵）「おしえてみんなのすきなもの」（鑑） 「ねんどとなかよし」（造形遊び） 「チョッキン パッでかざろう」（工）「ひかりのくにのなかまたち」（エ） 「ふわっとぎゅうっとおはながみのえ」（絵）「すいすいぐるーり」（絵）
二 学 期	「さわってまぜてきもちいい」（絵）「あそぼうよパクパクさん」（エ） 「すきなもののいろいろあるね」（立体）「こすりだしからうまれたよ」（絵・版） 「うきうきボックス」（エ）「はことはこをくみあわせて」（立体）
三 学 期	「スタンプぺったん」（遊）「おしらせします！にっこりニュース」（絵） 「できたらいいなこんなこと」（絵）「ようこそあたらしい1ねんせい」（絵）

《子どもたちにがんばってほしいこと》

- ◎ 日頃から、図画工作科の授業で使えるものを集めておきましょう。
集めたものは、『図工箱』に入れておく役立ちます。
材料や道具を忘れないようにしましょう。
材料は、むだにしないで大切に使いましょう。
道具は安全に気を付け、丁寧に使いましょう。
- ◎ 作品は、途中であきらめないで、最後までがんばり完成させましょう。
- ◎ 後かたづけは、みんなと協力して進んでしましょう。

体育科 1年

体育科で学習すること

- 簡単な決まりや活動を工夫して各種の運動を楽しくできるようにするとともに、その基本的な動きを身につけ、体力を養う。
- だれとでも仲よくし、健康・安全に留意して意欲的に運動をする態度を育てる。

田間宮体育の願い

めあてをもって、力いっぱい活動する喜びを味わわせる体育学習

- ・ 力いっぱい全身で活動させる。
- ・ 個々を認め励まし、興味・関心・意欲を持たせる。
- ・ 友達と仲よくし、集団の活動に慣れさせる。

- 教師のねらいとした課題を楽しく取り組むことができるようにします。
- 体育授業の1時間の流れをつかむことができるようにします。
(準備運動→用具の準備→主運動→カード記入→片付け→整理運動)
- めあて達成に向けて、友達のよい動きを見て、まねることができるようにします。
- 友達を力いっぱい応援できるようにします。
- 指定された場に置き、活動することができるようにします。(器具や道具の安全)

身に付けさせたい力

「からだづくり」

- ・ 細かな所にとらわれなくて、力いっぱい全身で活動することができる。
- ・ 動きを深めるよりも、活動種目を多く広めることができる。(調整力の促進)
- ・ 自分の好きな動きから始めて、与えられた課題に向かって粘り強くやりぬくことができる。

「こころづくり」

- ・ 自分の好きな動きから始めて、与えられた課題に向かって粘り強くやりぬくことができる。
- ・ 勝敗を素直に認めることができる。

「なかまづくり」

- ・ 決まりを理解しながら友達と仲よくゲームができる。
- ・ 友達と仲よく話し合うことができる。



学習の予定

月	領 域 名	<内 容>
4	集団行動	<集団行動>
	多様な動きをつくる運動遊び	<固定施設を使った運動遊び>
5	表現リズム遊び	<表現リズム遊び>
6	器械・器具を使つての運動遊び	< 鉄棒遊び >
7	走・跳の運動遊び	< かけっこ・リレー >
	水遊び	< 水遊び >
9	ゲーム	<ボール投げ>
	表現リズム遊び	<表現リズム遊び>
	器械・器具を使つての運動遊び	< 鉄棒遊び >
10	走・跳の運動遊び	<かけっこリレー>
	多様な動きをつくる運動遊び	< かけ足 >
	走・跳の運動遊び	< 川とび >
11	ゲーム	<ボール蹴り遊び>
	体づくり運動	<体ほぐしの運動> <多様な動きをつくる運動遊び>
	器械・器具を使つての運動遊び	< マット遊び >
12	ゲーム	<ドッジボール>
1	体づくり運動	<体ほぐしの運動> <多様な動きをつくる運動遊び>
	ゲーム	<鬼遊び>
	器械・器具を使つての運動遊び	<跳び箱遊び>
2	走・跳の運動遊び	<障害物リレー>
	ゲーム	<サッカー遊び>

評価の観点



- 知識・技能 … 各種の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、基本的な動きを身に付けている。
- 思考力・判断力・表現力 … 各種の運動遊びの行い方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えている。
- 学びに向かう力・表現力等 … 各種の運動遊びに進んで取り組み、きまりを守って誰とでも仲良く運動したり、健康・安全に留意したりし、意欲的に運動している。

特別活動 1 年

★特別活動の目標★

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指します。

★特別活動の活動内容★

学級活動	学校行事	児童会活動
(1) 学級や学校における生活づくりへの参画 (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現	儀式的行事 文化的行事 健康安全・体育的行事 遠足・集団宿泊的行事 勤労生産・奉仕的行事	1年生を迎える会 卒業を祝う会 陸上選手をほめます会 等



◇学級活動の学習の予定◇

月	(1) 学級や学校の生活づくりに関する内容 1 8 時間	(2) 日常生活や学習への適応及び健康安全に関する内容 1 3 時間	(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現に関する内容 3 時間
	《予想される議題例》	《題 材》	《題 材》
1 学期	・クラスのめあてを決めよう ・係を決めよう ・「こどもの日」の会をしよう ・休み時間にみんなで遊ぼう ・雨の日の遊びを決めよう ・七夕祭りをしよう ・学級のやくそくを決めよう ・6年生とあそぼう ・運動会の約束を決めよう	○楽しい学校 ○給食の準備 ・学校の行き帰り ・元気に挨拶 ○みんななかよし ○楽しい運動会 ・学習の準備 ○むし歯のできる わけ ・雨の日を楽しく ・丈夫なからだ ○初めての夏休み ・持ち物の整理	○掃除の仕方 ・係と日直
2 学期	・給食当番や係を決めよう ・友だちと仲良く遊ぼう ・グループのめあてを決めよう ・落とし物をなくそう ・お楽しみ会をしよう ・がんばったことの発表会をしよう ・スポーツ大会をしよう ・好きな本の発表会をしよう	○2学期をむかえて ・物を大切にすること ・大切な目 ・整理整頓 ○校外学習の約束 ○楽しい読書 ○もうすぐ冬休み	○上手な話し方聞き方 ・風邪の予防 ・家での学習
3 学期	・係を決めよう ・「卒業を祝う会」の出し物を決めよう ・6年生に色紙を送ろう ・縄跳び大会をしよう ・1年生きょうならの会をしよう	○3学期をむかえて ・交通のきまり ・空気入れ替え ○給食の好き嫌い ・寒い日の過ごし方 ・持ち物を大切に ○みんな元気にいい気持ち	○もうすぐ2年生 ・教室をきれいに ・もうすぐ春休み



道 徳 科 1 年

学習予定

	月	教材名	項目
1 学期	4	あかるい あいさつ	B 礼儀
	5	はりきりいちねんせい	A 善悪の判断
		かぼちゃのつる	A 節度、節制
		ぼくはきゅうしょくとうばん	C 勤労
		おかしてみんなをしあわせに	A 希望と勇気
	6	すみれとあり	D 自然愛護
		*がんばって	B 友情、信頼
		めだかのめぐ	C よりよい学校生活
2 学期	7	みらいがかいたえ	C 公正、公平
		みんな あかちゃんだったよ	D 生命の尊さ
		げんきでね、あげはくん	D 自然愛護
	9	おかしく ないかな	C 規則の尊重
		*ぼくにできること	A 節度、節制
		ぼくのこと きみのこと	A 個性の伸長
		だれも見ていない	A 善悪の判断
	10	はやとのゴール	B 親切思いやり
		じゃんけんぼん	C 公正、公平
		はちさんのバッジ	B 感謝
		金のおの ぎんのおの	A 正直、誠実
	11	となりの ジェニーちゃん	C 国際理解
		さるきちのいたすら	C 規則の尊重
		ノンノンだいじょうぶ	D 生命の尊さ
		くりのみ	B 友情、信頼
3 学期	12	ぼっかぼか	B 礼儀
		はしの上のおおかみ	B 親切、思いやり
		七つぼし	D 感動畏敬の念
	1	お正月	C 伝統と文化の尊重
		ともやさんの字	A 希望と勇気
		*大すぎなタブレットタイム	A 節度、節制
	2	サバナナの子ども	C 家族愛
		学校のかえりみち	A 善悪の判断
		ないちゃった	B 親切、思いやり
	3	ハムスターの赤ちゃん	D 生命の尊さ
		大すぎだから	A 個性の伸長

*彩の国の道徳（埼玉県独自の道徳教育教材資料集）

1 学期：「学級づくりの羅針盤」より

2 学期：「心の絆」より

3 学期：「未来に生きる」より

道徳科で学習すること

A 主として自分自身に関すること

- (1) よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行うこと。
- (2) うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活すること。
- (3) 健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。
- (4) 自分の特徴に気付くこと。
- (5) 自分がやるべき勉強や仕事をしっかりと行うこと。

B 主として人との関わりに関すること

- (6) 身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。
- (7) 家族など日頃世話になっている人々に感謝すること。
- (8) 気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接すること。
- (9) 友達と仲よくし、助け合うこと。

C 主として集団や社会との関わりに関すること

- (10) 約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。
- (11) 自分の好き嫌いにとらわれないで接すること。
- (12) 働くことのよさを知り、みんなのために働くこと。
- (13) 父母、祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つこと。
- (14) 先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくすること。
- (15) 我が国や郷土の文化や生活に親しみ、愛着をもつこと。
- (16) 他国の人々や文化に親しむこと。

D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

- (17) 生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること。
- (18) 身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接すること。
- (19) 美しいものに触れ、すがすがしい心をもつこと。

評価の視点

○道徳教育における評価は、教師が児童の人間的な成長を見守り、よりよく生きようとする努力を評価し勇気付ける働きをもつものです。観察や面接、質問用紙、作文等を利用して道徳性の共感的理解に努め、その結果を指導に生かすようにしています。

○道徳科に関しては、数値などによる評価は行いません。

外国語活動 1 年

*** 外国語活動の目標 ***

英語による聞くこと、読むこと、話すことの言語活動を通してコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する。

- 英語を通じて
- ① 言語や文化について体験的に理解を深める。
 - ② 他者に配慮しながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
 - ③ 英語の音声や基本的な表現に親しませる。

外国語活動で学習すること

- * 英語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験します。
- * 積極的に英語を聞いたり話したりします。
- * 言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知ります。
- * 英語の音声やリズムなどに慣れ親しむとともに日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさに気付きます。
- * 日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知り、多様なものの見方や考え方があることに気付きます。
- * 異なる文化をもつ人々との交流等を体験文化等に対する理解を深めます。

*** 評価の観点 ***

- ① 言語や文化の理解を深めているか。
- ② 積極的にコミュニケーションを図ろうとしているか。
- ③ 英語の音声や表現に慣れ親しんでいるか。

*** 保護者の方へ ***

- ・ 外国語活動においては、原則として英語を取扱います。
- ・ 多くの表現を覚えたり細かい文法事項を理解したりするのではなく、簡単な表現を読んだりすることでコミュニケーションを図り、英語に慣れ親しむことに重点を置いていきます。
- ・ ALTが来校し、担任と一緒に学習を進めていきます。
- ・ CDやDVDなどの視聴覚教材や絵カード等を活用しています。



学習の予定（年間10時間）

	タイトル	主な使用表現 内容 等
1 学 期	1 Hello! あいさつをして友達になろう。 4月（1時間）	Hello. My name is Ken. Nice to meet you. Goodbye. （あいさつのマナー・自分の名前を言う・積極的なあいさつ）
	2 Touch! 体の部分をさわろう。 5月（1時間）	eye, ear, nose, mouth, hand, foot （体の部分の言い方）
	3 Jump. 体を動かそう。 6月（1時間）	Stand up/ Sit down/ Jump/ Stretch （体を大きく動かす動作）
	4 Pass! ボールをもらおう！ 7月（1時間）	Pass me the ball, please. （ボールをもらう・渡す）
2 学 期	5 Animal 動物の名前を伝えよう。 9月（1時間）	cat, dog, mouse, rabbit, horse （動物の名前）
	6 shape 図をかこう。 10・11月（2時間）	square, circle, rectangle, triangle, line （図形の名前）
3 学 期	7 What's this? これは何でしょう？ 12月（1時間）	What's this? It's strawberry. （物の質問の仕方・答え方）
	8 Open. あけよう。ひらこう。 1・2月（2時間）	Open this please. （開ける・閉じるの言い方）